

近隣の避難所を訪問 支援活動に大活躍！

東葛健康友の会では近隣の東深井福祉センターに避難している福島県相馬市からの被災者を訪問、支援活動を行っています。先日は東葛看護学校の調理室でカレーを調理し、避難所へ温かい食事を差し入れ大変喜ばれました。100kg 超えるお米がカンパとして集まりました。

またその様子を見た東葛看護学校の学生から「自分達も何か協力したい」と申し入れがあり、避難所での炊き出しや後片付け、子どもたちの遊び相手のボランティアに学生たちが参加してくれています。避難所の中学生の学習ボランティアにも登録し、地元の友人も集めてボランティア学習塾を開くなど学生パワーを発揮しています。

(東葛病院震災復旧ニュースより)



被災地では臨機応変・創意工夫のある支援が求められる

多くの避難所はプライバシーが確保されておらず、訪問した避難所では女性被災者から安心して着替えるところがないと打ちあけられました。避難所の管理本部に問い合わせると、パーテーションを作るときがない、着替えは障害者用トイレでお願いしているとのこと。いくつかの案を用意し交渉したところ、展示室の一部を女性更衣室として開放してくれることになりました。まだ一カ所ですが「これで安心して着替えができる」ととても喜んでもらえました。市の職員は前向きに話を聞いてくれましたが、被災から三週間近くたった今も避難所の管理側と避難所生活されている方の代表が生活環境改善について話し合う場は設けられておらず早急な改善が求められます。(すこやかの家業平所長 長谷川浩司)



避難所で紙おむつを敷いて洗髪

私たちの避難所訪問チームは頭の下に紙おむつを敷いて洗髪を行いました。自衛隊のお風呂には自立した人だけしか入れません。お風呂場がなくても寝たきりの人に洗髪ができ喜ばれます。これからますます介護の力が必要とされています。(綾瀬訪問看護ST 下看護師)

【東都協議会支援対策本部NEWSより】

東日本大震災現地支援報告と東京都政を考えるつどい

青年職員

★と き：4月2日(土) 14時30分 集合

★ところ：東京民医連会議室(ラパスビル2階)

青年職員の皆さんへ参加をよびかけてください。